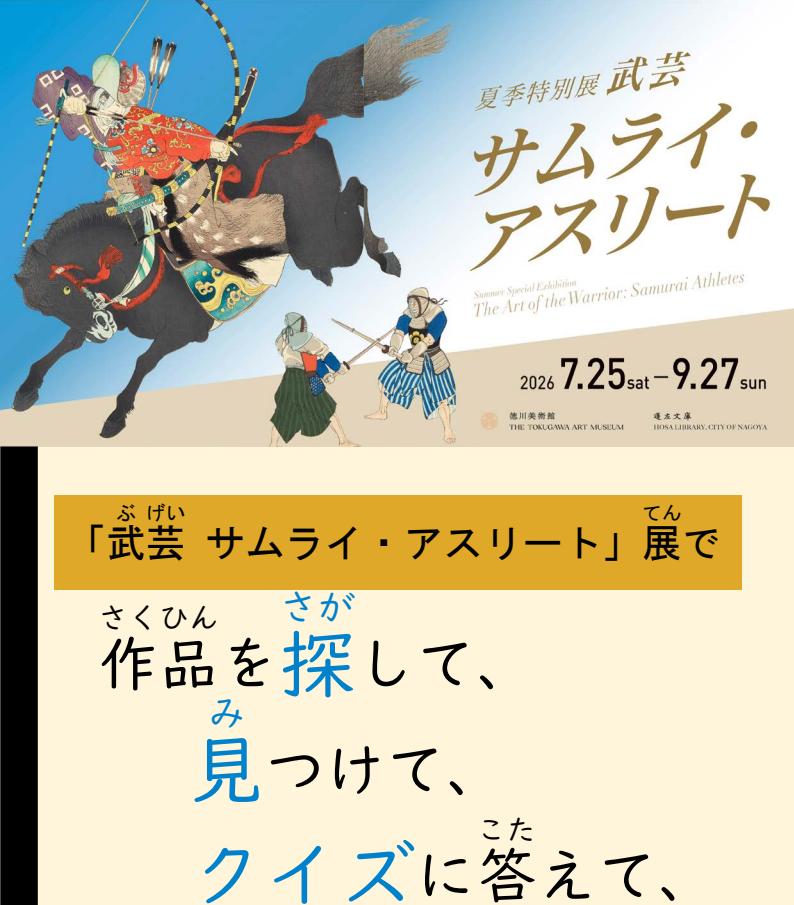




会場 1～4章：蓬左文庫展示室
5～9章：徳川美術館 本館展示室

家族や友だちと一緒に、スマートフォンを使って楽しむ。画面を少しずつ、下にスクロールしながら、1問ずつクイズに挑戦してね。答えが見えないように、ゆっくり進めるのがコツです！

全てのクイズをクリアして、最後のページにあるアンケートに答えて、参加記念品をもらおう。玄関ロビーのインフォメーションカウンターで、アンケート回答後に届くメール画面を見せてね。

【おねがい】

- ・スマートフォンの見ながら歩くとき、危険なよ。作品の前で立ち止まって画面を見てね。
- ・他の人の迷惑にならないように気を付けよう。ゆっくり歩いて、ちいさな声で話そう。
- ・展示室のケースやパネルなどには触らないでね。
- ・メモをするときは鉛筆を使おう。
- ・展示室では、食べたり飲んだりしないでね。

江戸時代の武士は、日頃から刀や鎧、弓矢、馬の扱いを練習するなど、武術（武芸）を身につけていた。

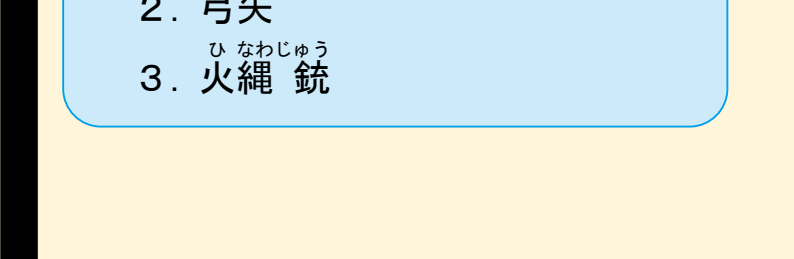
刀を使って戦う「剣術」、鉄炮をうつためた「炮術」、鎧を使って戦う「鎧術」、などがあります。

多くの人が競技としておこなえるように、これらの武術（武芸）を改良したのが、今の武道です。現代でも、心や体を鍛えるため、伝統競技（スポーツ）として伝わっています。

さあ！蓬左文庫展示室から、大名家の尾張徳川家で実際に用いられた道具や書物を通して、さまざまな武術（武芸）の世界をのぞいてみましょう。

どこにあるかな？

作品 No. 1 を探そう



No. 1 後三年合戦絵巻 (模本) 上巻

第1問

馬に乗って戦う武士が描かれています。武士が使っている武器はどれ？

1. 鎧
2. 弓矢
3. 火縄銃

わかったかな？

答え

2. 弓矢

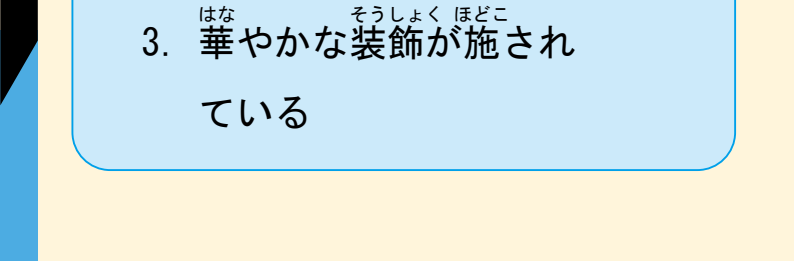
No. 1 後三年合戦絵巻 (模本) 3巻の内 上巻
詞書 庭田重熙筆・絵 土佐光芳筆
江戸時代 明和 6年 (1769)

弓は、遠くにいる敵に届くための武器です。江戸時代になっても、昔ながらの武器として大事にされました。現代に伝わる競技に、馬に乗りながら的に矢を射る「流鏑馬」があります。

合戦絵巻には、命をかけて戦場を駆け巡った武士の姿が描かれています。馬に乗って、弓を放ち、戦う武士の姿を見てみましょう。

どこにあるかな？

作品 No. 31 を探そう



No. 31 黒塗桐紋鞍・鎧

第2問

鞍・鎧は馬に乗る人を支える道具です。この道具の特徴はなんでしょう？

1. 軽く作られている
2. 丈夫に作られている
3. 華やかな装飾が施されている

わかったかな？

答え

2. 丈夫に作られている

No. 31 黒塗桐紋鞍・鎧
伊勢駿河守貞雅作
徳川家康所用
桃山 - 江戸時代 16-17 世紀

馬の背中に装着した鞍にしっかりと腰かけ、馬の左右に下げた鎧に足をのせます。激しい戦いにも耐えられるように、木と鉄を使って丈夫に作られています。

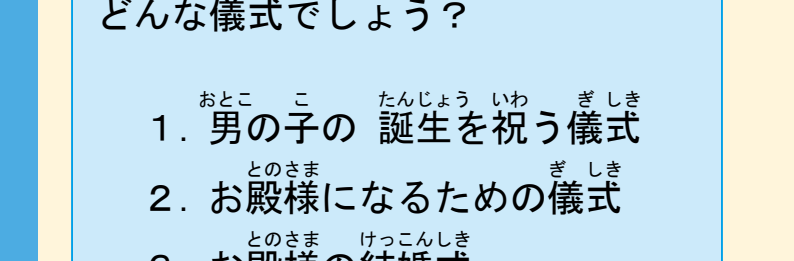
この鞍と鎧は、徳川家康が戦いの時に使ったといわれています。黒一色でありながら、堂々とした風格ですね。

現代に伝わる競技に、京都の上賀茂神社などでおこなわれる馬の競走「競馬」があります。

【馬を使うスポーツ】
西洋では競馬や戦車競走など馬を使った競技が、古代から行われました。馬による競技は、障害物を飛びこえる競技や馬の動きの美しさを競う「馬場馬術」などに発展し、現代のオリンピック競技になっています。

どこにあるかな？

作品 No. 54 を探そう



本館展示室 No. 54 太刀

第3問

この大きな太刀は、尾張徳川家の大切な儀式の時に使われました。どんな儀式でしょう？

1. 男の子の誕生を祝う儀式
2. お殿様になるための儀式
3. お殿様の結婚式

わかったかな？

答え

2. お殿様になるための儀式

No. 54 太刀
銘 永則 吹毛影 寒 天魔
膽落 別々珊瑚枝々撐 著 月
大和国添上郡神戸 莊 柳生
伊豫守 平 利藏所持之
柳生利藏 (尾張柳生家初代)・徳川光友 (尾張家 2代) 所持

普通の太刀の約2倍以上も長い太刀で、「大太刀」といいます。尾張徳川家では、新しくお殿様になると、お殿様にけんけつを教える尾張柳生家から、この大太刀が贈られました。柳生流のリーダー(家元)を示す宝物です。尾張家の深いつながりを示す刀です。

【刀を使うスポーツ】
剣道は、昔の武士たちが日々、鍛錬してきた刀を使って戦う武術が発展し、生まれた武道のひとつです。

ヨーロッパにも、剣の形をした道具を用いる伝統的な競技、フェンシングがあります。

どこにあるかな？

作品 No. 73 を探そう



本館展示室 No. 73 朱塗啄木系 威具足

第4問

この鎧の、胸のあたりにあるへこみは何によってできたのでしょうか？

1. 刀
2. 鎧
3. 鉄炮の弾

わかったかな？

答え

3. 鉄炮の弾

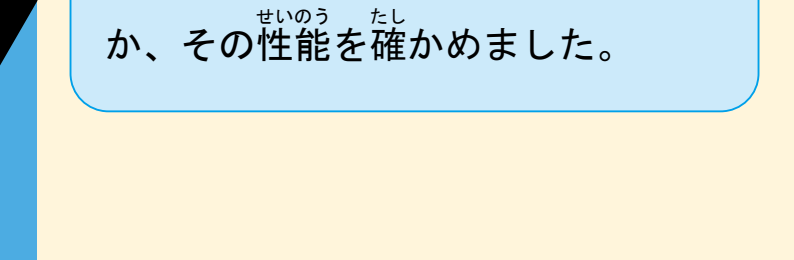
No. 73 朱塗啄木系 威具足
春田吉次・加藤彦十郎正勝作
徳川義直 (尾張家初代) 着用
江戸時代 寛永 3年 (1626)

室町時代までは、弓・鎧・刀が戦いの主な道具でした。そこに鉄炮が登場すると、鎧の素材や形が大きく変わりました。

体を守るための胴は鉄板を曲げて作られました。鎖を用いた籠手や佩盾で腕を守りました。胴にあるへこみ(傷)は、試し撃ちの跡です。お殿様が兜と鎧を身につける前に、実際に鉄炮の弾を撃って、弾が貫通しないか、その性能を確かめました。

どこにあるかな？

作品 No. 88(89) を探そう



No. 88-89 長篠合戦図 屏風

第5問

天正 3年 (1575) 5月、織田信長・徳川家康の軍と武田勝頼の軍が戦った長篠合戦で、はじめてたくさん使われたことで、当時の戦い方が大きく変わったとされています。その武器はどれでしょう？

1. 弓矢
2. 刀
3. 鉄炮

わかったかな？

答え

3. 鉄炮

本館展示室
7/25～8/25
No. 88 長篠合戦図 屏風 六曲一隻 江戸時代 18-19 世紀
8/26～9/27は複製を展示 (No. 89)

長篠合戦では、初めて鉄炮が大量に使われました。信長は鉄炮を効果的に使い、武田軍を打ち負かしました。

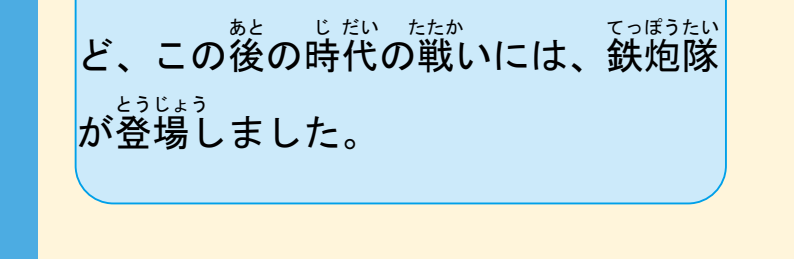
長篠合戦・関ヶ原合戦・大坂夏の陣など、この後の時代の戦いには、鉄炮隊が登場しました。

展覧会を楽しんでくれたかな？

アンケートに答えると、参加記念品がもらえるよ。

※アンケート送信後に届く、受付番号が書かれた、「徳川美術館 アンケート回答受理メール」の画面を、玄関ロビー・インフォメーションカウンターのスタッフに見せてね。

アンケートはここをクリックしてね



THE TOKUGAWA ART MUSEUM
徳川美術館